

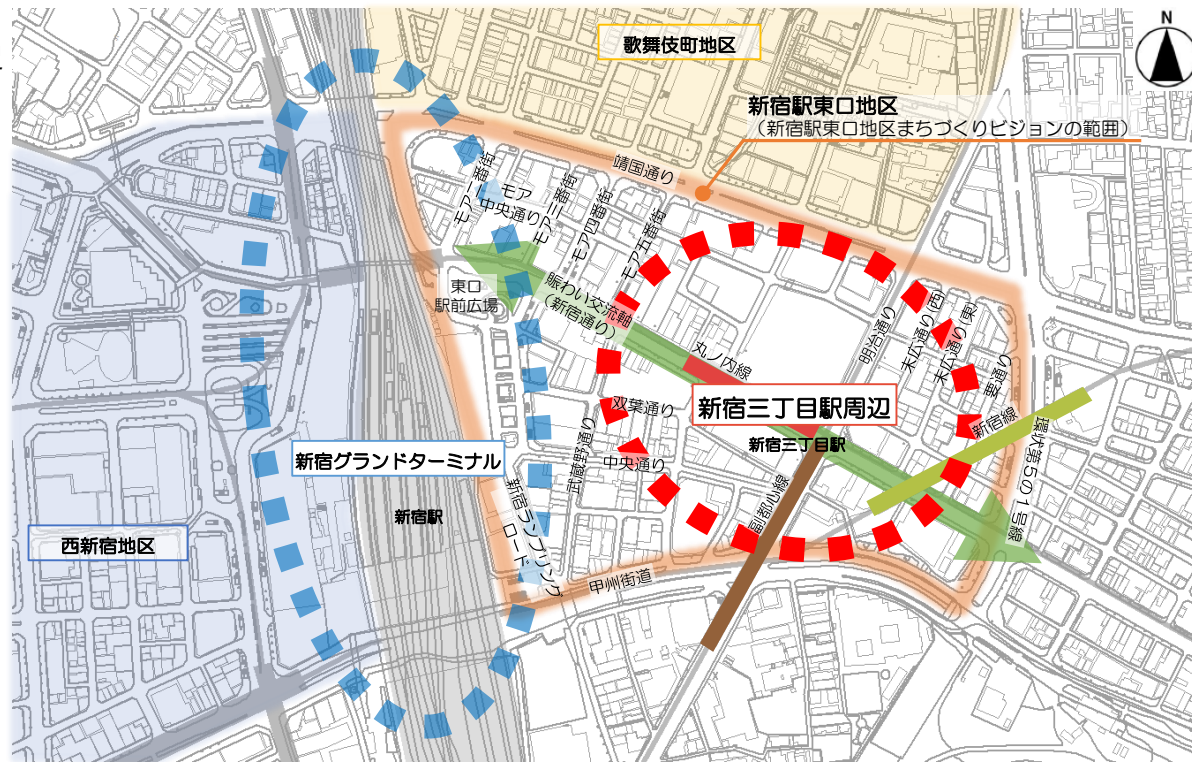
1. 誘導方針の目的と対象範囲

■目的

- 新宿駅東口地区は、日本を代表する国際的な商業・観光の拠点として一層の発展が期待される。
- 一方、建物の多くが老朽化しており、防災性について懸念が高まっていることから、円滑な建替え更新を行いながら、新宿らしい賑わいの維持発展や安全・安心で快適なまちづくりを推進する必要がある。
- 地元まちづくり組織の新宿EAST推進協議会は「2つの交流核+モール&パサージュ」による魅力づくりを掲げ、区と連携し、まちづくりに取組んでいる。
- 平成31年3月には、本地区のまちの将来像などを区民・事業者・行政で共有し、段階的なまちづくりを進めるため、「新宿駅東口地区まちづくりビジョン」を策定した。
- まちづくりビジョンでは、新宿三丁目駅周辺を「商業や観光による賑わいの拠点」とし、まちの将来像である「日本を代表する賑わいと歩きたくなるまち～駅を中心とした2つの拠点と新宿通りを中心とした賑わい交流軸の形成～」の実現を目指すこととしている。
- 本方針は、新宿三丁目駅周辺に必要な都市機能や都市基盤等について、まちづくりビジョンの深度化を図り、区と地域が連携し、今後のまちづくりを誘導していくことを目的とする。

■対象範囲

新宿三丁目駅周辺
及び関連する範囲



■「新宿三丁目駅周辺まちづくり誘導方針」の位置付け

新宿駅東口まちづくり構想 (平成23年2月 新宿区)

- 【基本戦略】
- 歩行者主体の回遊性のあるまちづくり
 - 老朽化建物の更新による活気あるまちづくり
 - 風格と活力が調和した魅力あるまちづくり

新宿駅東口地区まちづくりビジョン (平成31年3月 新宿区)

- 【まちの将来像】
- 日本を代表する賑わいと歩きたくなるまち～駅を中心とした2つの拠点と新宿通りを中心とした賑わい交流軸の形成～

新宿三丁目駅周辺まちづくり検討委員会 (令和3年2月～)

新宿三丁目駅周辺まちづくり誘導方針 (令和4年度(予定) 新宿区)

地域と行政の連携によるまちの将来像の実現に向けた具体的な検討や取組の推進

- 地区計画等で地区特性に応じた建替えの誘導
- 大規模開発等で新宿三丁目駅周辺の拠点づくりの誘導
- 道路断面構成見直し等の都市基盤の検討の深度化
- まちの維持発展のためのエリアマネジメント体制の検討

2. まちの特性と課題

■まちの特性

日本を代表する
商業集積地

- 都内最大の商業地
- 文化・芸術の発信



日本を代表する
商業集積地

2つの駅を
中心とした
重層的な歩行者
ネットワーク

- 鉄道等の公共交通機関の充実
- 地上・地下の歩行者通路



歩行者ネットワーク
(地下)

歩行者中心の
まちづくり

- 歩行者天国の実施
- 特例制度によるオープンカフェ



歩行者中心のまちづくり
(モア四番街)

■まちの課題

更新期を迎えた
建物の建替えや
災害時の備え

- 旧耐震基準の建物
- 大規模地震等の災害時対応



駅出入口の
わかりにくさ

駅出入口の
わかりにくさや
滞留空間・
バリアフリー
動線等の不足

- わかりにくい地下鉄駅の出入口
- 歩行者の滞留空間の不足



滞留空間の不足

荷さばき車両や
自転車等による
歩行空間の阻害

- 荷さばき車両等と歩行者の交錯
- 路上駐輪等による歩行者動線の阻害



歩行空間の阻害

3. まちの将来像

■新宿三丁目駅周辺の将来像

新たな出会いと体験の場となる
歩いて楽しい交流拠点「新宿追分」

新たな賑わいや
文化を創出するまち
(Activity)

老舗店、ブランド店、飲食店、物販・サービス店等による商業を中心とした文化・情報発信や、映画館、寄席、ギャラリー等の娯楽・芸能・芸術で賑わうまち。伝統と革新が共存し、時代のニーズに柔軟に対応しながら新たな賑わいや文化を創出するまちへ。

新宿三丁目駅周辺の
新たな出会いと体験の場となる
歩いて楽しい交流拠点
「新宿追分」

回遊性の高い
歩いて楽しいまち
(Walkable)

新宿駅と新宿三丁目駅をつなぎ先進性・大衆性が融合した新宿通りや、多様な賑わいのあるモア街、双葉通り、中央通り、武蔵野通り、新宿ランプリングロード、末広通り、要通り等からなる回遊性の高い歩いて楽しいまちへ。

安全・安心で
誰でも受け入れる
多様性のあるまち
(Diversity)

賑わいだけではなく、憩いや安全・安心、環境への配慮等の、新たな取組や技術を取り入れる挑戦のまち。年齢、性別、国籍等に関わらず、誰でも受け入れる多様性のあるまちへ。

4. 誘導方針

新たな賑わいや文化を創出するまち

方針1 界隈性と新たな体験のあるまちをつくる

1. 回遊性と多様な賑わいのある「パサージュ空間※1」をつくる

- 賑わい・憩いの創出、ヒューマンスケールの街並みの形成
- まちの回遊性の向上
- エリアマネジメントによる多様な賑わいの創出



※1 パサージュ空間：新宿駅東口地区における湾曲した通り、丁字路、敷地内の貫通路や滞留空間による回遊性や、通り沿道のまちに開かれた個性ある物販店等の賑わい等により、界隈性と新たな体験のある歩いて楽しい空間。個別建替えや様々な規模の共同化にあわせて、より魅力あるパサージュ空間を目指す。

2. 新たなモノやコトを体験し共感できるまちをつくる

- 新たな商業、娯楽・芸能・芸術等のまちの機能の誘導
- 新たな「モノ」や「コト」が生まれ続けるまちの形成

方針2 まちと駅がつながる賑わいと交流の拠点をつくる

1. 駅からまちの賑わいが感じられる空間をつくる

- 大規模開発等にあわせた「まち・えき空間」の整備



「まち・えき空間」のイメージ（地下と周辺のまちとのつながり）

2. 国内外から人・もの・情報を呼び込む交流の場をつくる

- 大規模開発等にあわせた新たな交流・価値を生み出す場の創出
- 新宿三丁目駅周辺の拠点にふさわしい「顔づくり」

回遊性の高い歩いて楽しいまち

方針3 歩行者優先のまちをつくる

1. 車両流入を段階的に抑制する

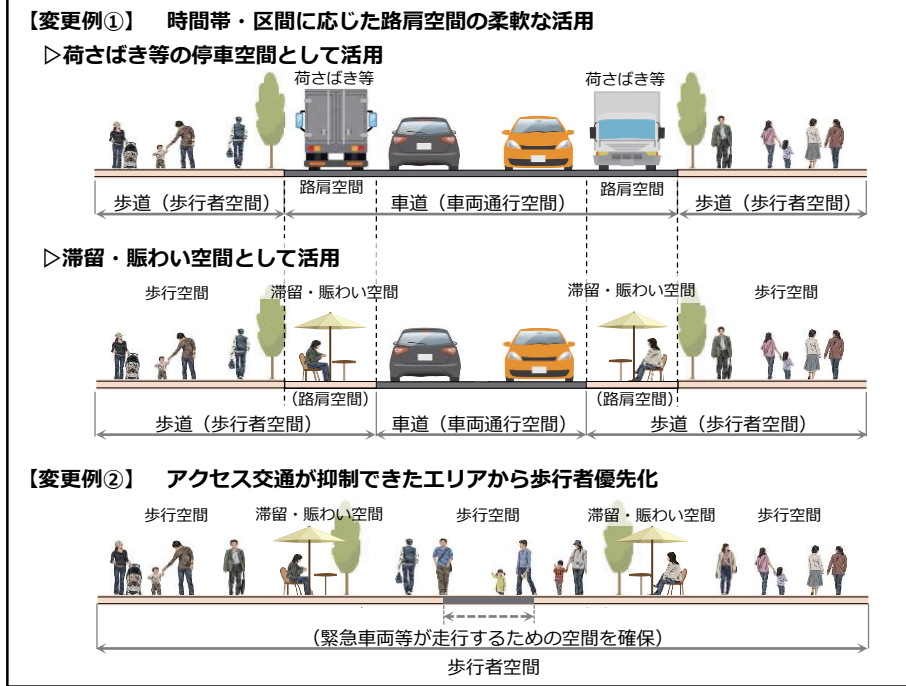
- アクセス交通※2の段階的な抑制
- ※2 アクセス交通：新宿三丁目駅周辺を目的地として流入する車両

2. 広域幹線等※3からアクセスできる交通施設を確保する

- 大規模開発等を契機とした隔地・集約駐車場の段階的な確保、路外共同荷さばき場の段階的な確保、駐車場のネットワーク化等
- ※3 広域幹線等：靖国通り・甲州街道・環状第5の1号線、もしくはこれらに取付く道路

3. 人中心の道路空間に変更する

- 路肩空間の柔軟な活用等の段階的な整備
- 快適な歩行空間や滞留・賑わい空間の確保



道路断面の変更イメージ*（一般的な歩車道）

*イメージは変更となる可能性があります

方針4 まちを楽しむ新たなみちをつくる

1. 歩行者ネットワークを拡充する

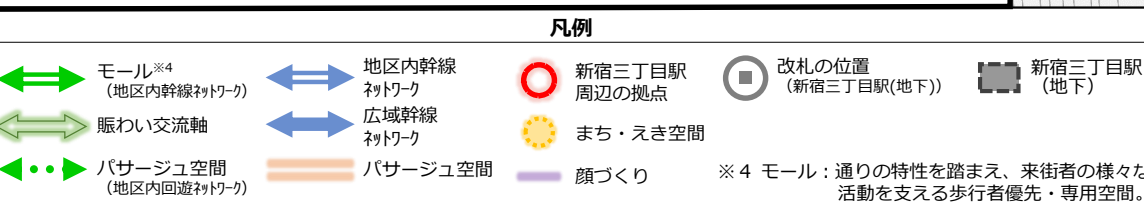
- 地下の歩行者ネットワークを拡充し、地上、地下で歩行者の流れを分散

2. ゆとりある歩行空間・滞留空間を確保する

- 地上・地下において賑わいを生む滞留空間の確保

3. 地上・地下及び地下間をつなぐバリアフリー経路を拡充する

- バリアフリー縦動線の整備や乗換動線のバリアフリー施設の拡充



安全・安心で誰でも受け入れる多様性のあるまち

方針5 安全・安心で人に優しいまちをつくる

1. 災害発生時に持続可能なまちをつくる

- 建物の耐震化や建替えの促進
- 大規模開発等にあわせた帰宅困難者の受入れ空間等の確保

2. 地域主体でいつでも安全・安心なまちをつくる

- 地域と行政が連携した防災訓練や置き看板の対策等

3. 誰でも受け入れるユニバーサルなまちをつくる

- ユニバーサルデザインに配慮した案内設備の導入

方針6 環境に優しいまちをつくる

1. 多様で視覚に訴えるみどりをつくる

- 多層な空間を活用しながら、多様で視覚に訴えるみどりを創出

2. 高水準の環境・エネルギー対策を実装したまちをつくる

- 最先端の省エネルギー技術等の導入

方針7 新宿全体の魅力を高める最先端なまちをつくる

1. 自動運転や次世代モビリティで人に優しいまちをつくる

- 次世代技術を活用したシステムの導入についての検討

2. 新しいことに挑戦し、変化し続けるまちをつくる

- エリアマネジメント等により、新たな価値や魅力を生み出し、発信し続けるまちの形成

■誘導イメージ（地上）

